

シンク・ラボラトリー

# グラビア版の検査システム

## 協業で完全自動化を推進

(株)シンク・ラボラトリー

(千葉県柏市高田、重田龍

男社長、☎0477143・

6760)はこのほど、シ

リウスビジョン(株)(横浜市

港北区新横浜、辻谷潤一社

長、☎045659592

88)と共同開発したグラ

ビア版検査装置「INSPECTION SYSTEM

MEFX」を発表。検版の自動化ソリューション確立を支援する。

INSPECTION SYSTEMEFXは、シ

リウスビジョンの検査装置

「ScanGRACE

(グレイス)」をベースに、

インライン型のシステムに

対応させた新製品。1画素

あたりの分解能が10倍以

上っており、AIを活用し

て欠陥箇所の自動分類、識

別、マーキングをさせる。

マスクに該当するTEF

Fデータと比較し、グラビ

ア版の画線部であるメッ

シユの欠けやキズなど細部

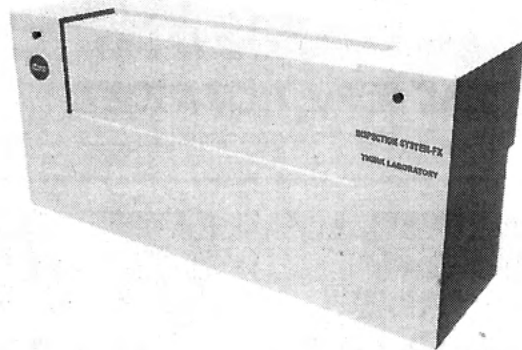
まで検出。「1100×6

00」のシンダーを5分

以内に検査可能(シリウ

スビジョン担当者)とする。

グラビア版の検査装置「INSPECTION SYSTEM-FX」を発表



シンク・ラボラトリーはグラビア製版の自動化システム「NewFX3」を展開。INSPECTION SYSTEMEFXをライン内に組み込むことで、従来オフラインで行っていた検査工程を効率化できる。

検査工程の自動化によって、欠陥の生じた版に起因するトラブル防止を実現。版のトレーサビリティを確保し、不良発生の原因特定にも有用とする。協業の経緯について、シ

リウスビジョンの担当者は「グラビア製版システム的全自動化に際し、検査工程が欠けていた最後のワンピースだった。ScanGRACEの実績をもとにシンク・ラボラトリーさまと開発を進め、インラインに対応した検査装置の発表に至った」と説明。シンク・ラボラトリーの担当者は「1月の展示会『コンパティンクテクノロジー総合展』で実機展示とデモンストラーションを行う」としている。